

平成23年度 前期授業評価アンケート 公開コメント

授業科目名	代表教官	コメント
言葉と文化	石平 光男	「日本語と日本文化」についての基本的で幅広い知識が身につくようテレビや新聞雑誌、広告媒体などさまざまな生きた教材をつかひながら楽しく分かりやすく、それでいてなおかつ卒業後実社会で役に立つような授業をしていきます。
英語ⅠA(読解中心)	成田 篤彦	公開は差し支えありませんが、特にコメントはありません。
英語ⅠA(読解中心)	磯野 達也	この授業では、基礎的な英文法を確認し、英語を読む能力を高めることを目標とし、「英文の読解と語彙力の養成」、「基本的な英会話ビデオを用いたリスニング」を行った。今後は、基礎的な英文法をある程度体系的に確認するとともに、様々な英語を使ったアクティビティーを取り入れて、その中で英語力が向上していくよう授業展開を工夫する。
英語ⅠA(読解中心)	櫻井 裕子	学生は総じて熱心に取り組み、教員の意図する活動がおおかた達成できた。
英語ⅠA(読解中心)	奥 聡一郎	コンピュータを用いた授業ではインターネット、復習のしやすさ、音声や映像の提示など利点も多いので有効に活用できるように心がけています。英語の基本的な学習方法(ノートや辞書の活用)と学習内容の定着をまず目標に、できるだけわかりやすい説明を行っていくつもりです。
英語ⅠA(読解中心)	森川 慎也	意欲的に英語学習に取り組む学生が多いので教える方も自然と身が入る。今後も学生の理解度を見極めつつ、彼らの英語学習を多角的にサポートしていきたい。より具体的には、明確な学習目標の設定、小テストの実施、基本文法の復習、きめ細かい解説や板書等によって学生の英語運用能力を高めていきたい。
英語ⅡA(読解中心)	磯野 達也	英語をなるべく早く、正確に読む能力を高めることを目標として、毎回500語程度の英文を読み、特に重要な構文や文法の解説と英作練習を行った。また、英語のインプットを増やすために英語ドラマのリスニングを行ったが、今後は、リスニング、スピーキングの機会をもう少し増やしていく予定である。
地域社会論	権 安理	視覚教材の使用や、身近な具体例の提示に対する評価が高かった。受講者の関心が多様である教養教育科目であることを意識して、今後もそのような授業方針を継続していきたい。
スポーツ理論と実習ⅠB(芸・理)	野田 哲由	本授業に参加することで、学生がスポーツを楽しむ態度を身につけることができるような内容を今後も展開していく
スポーツ理論と実習ⅠB(理学)	野田 哲由	本授業に参加することで、学生がスポーツを楽しむ態度を身につけることができるような内容を今後も展開していく。また、単に身体を動かすだけでなく学生同士がお互いに良好なコミュニケーションをとれるように工夫する。
スポーツ理論と実習ⅠC(看)	上岡 尚代	看護学科の学生がスポーツ理論と実習を学ぶ意義について早期に理解を深める事により、学生の授業への意欲を高めていきたい。
芸術表現ⅡA(書道)	細谷 恵志	必修科目であるので義務的、受動的にならぬように、意欲的に授業に取り組めるよう授業展開を図った。罰点方式ではなくできるだけ良いところを認め評価する方法をとった。書道の専門家を育成することが目的ではないので、履修理由にもあったように教養として身に付くよう配慮した。結果を見ても楽しく集中して学べたとあるので概ね方向性は良かったと考えられる。
デザイン論	川村 眞兄	私の講義している「デザイン」はモノではなく、モノの背後にある考えに重心を置いています。
現代工芸論	藤田 一人	“工芸”を対象に、現代的芸術表現の鑑賞と制作を一体化するような、行動的授業を心掛け、それを通して、より各自の経験や感性に応じた、独自の美意識、芸術観の発見を目指します。

平成23年度 前期授業評価アンケート 公開コメント

授業科目名	代表教官	コメント
古名跡書論	藤瀬 礼子	本科目は中国の書論、日本の書論を講読し、自ら制作に役立てることに重点を当てた。少人数であったので、漢和辞典を引きながら少しずつではあるが、漢文を読み、各書論の内容を理解できたようである。考え方、能力、知識、技術などの向上に得るところがあったかという質問には4.8という数値を示していたことは、受講生自身が書論から作品制作に反映させた結果と判断する。
運動学実習	加藤 宗規	実験を4つに絞り、レポート数を減らして実施したことにより負担が減少したようです。来年度についても、今年度同様に進行していき、臨床での実践力・思考力を高めることを目指していきます。
臨床運動学実習(3年)	盆子原 秀三	臨床という意味においては、学内でのカッコの穴埋めのような1つの答えを導き出す思考過程ではない。なるべくいろいろな角度から、現象を解釈できるように工夫をしたいと考えています。
老年期障害理学療法学演習	盆子原 秀三	授業の最後に出席表に簡単な質問を設けています。これにより授業の到達度を把握しているので、授業を通して理解したことを自分の言葉で表す練習をしていただきたいと考えています。
運動生理学実習	橋本 俊彦	解剖学や生理学的知見を基礎にした運動生理学的手法を用いて、運動時の生体反応に関する影響を呼吸・循環器系や代謝系の機能について体力測定の実際とデータ整理法を学習する。特に、運動能力を高めるためのトレーニング法、障害予防のトレーニング法等の基礎となる実習を行う。
運動器画像診断学	橋本 俊彦	身体所見から考えられる運動器疾患の病態について、画像診断を用いて確定診断を導き出すために、どのような画像診断の方法があるか、その内容、それらの基本的な読影法について講義する。一般的な運動器疾患の画像診断について読影可能になることを目標とする。
医療面接・倫理学	石丸 圭荘	公開により科目間の教育効果などを確認することができるので効果的である。
伝承東洋医学概論	石丸 圭荘	公開により科目間の教育効果などを確認することができるので効果的である。
整復医療概論	大澤 裕行	学理だけでなく、「現場で使える柔道整復師」を育てることが使命と思い、世界の医療の歴史から柔道整復師の歴史までを俯瞰し、彼ら学生がより卓越した医療従事者と成長できるよう、臨床経験を交え熱い授業を行った。自らの情熱が学生達に伝わることを祈りながら、全身全霊で授業を行っている。
スポーツトレーニング概論	野田 哲由	講義のみではなく、トレーニング実践を多く取り入れた双方向性の授業展開を図っていきます。常日頃から健康を意識した『体作り』を学生の皆さんも心がけてください。
整復ケア骨損傷学Ⅰ	大澤 裕行	学理だけでなく、「現場で使える柔道整復師」を育てることが使命と思い、持てる知識と技術さらには経験をすべて出し、授業に取り組んでいる。自らの情熱が学生たちに伝わることを祈りながら、全身全霊で授業を行っている。
整復ケア軟部組織損傷学Ⅰ	白石 聖	学生の皆さんも2年生となり、専門的な授業が増えてきましたが一つひとつ理解を深めてほしいと思います。分からない点もあると思いますがその都度気軽に質問してください。できるだけ分かりやすく説明したいと思います。
検査・測定と評価	岡田 隆	実技に関する座学が中心の内容であるため、より実技の理解がすすむよう、動画資料などを追加し、授業の充実度が上がるよう努力をしていきたいと思いません。
整復技術	山本 清	座学中心で行っているため、さらに理解度を高めるよう必要に応じて、整復技術(実技)の動画をより多くして行きたいと考える。

授業科目名	代表教官	コメント
基礎後療学演習	上岡 尚代	学生の理解度を高める為に、紙の資料での説明の後、三次元的イメージを理解できる動画で再度説明し、教員によるデモンストレーション、学生同士の演習の4段階を取った結果、昨年の学生評価より多くの項目で評価が上がっていた。
臨床整復医療実習Ⅰ	大澤 裕行	実習科目ゆえの教育の大変さがあり、BSL(ベッドサイドラーニング)、BST(ベッドサイドティーチング)を十分行えないもどかしさを感じている。臨床に即した実習のさらなる改善を試みてゆきたい。
臨床手技療法Ⅰ	山本 清	座学中心で行っているため、さらに理解度を高めるよう必要に応じては、実技を行いたいと考える。
整復医療特論	白石 聖	本科目は、選択授業ということもあり、非常に熱心に授業を受ける学生がおおい。通常の授業よりもより臨床的な授業であるため、実技の部分では積極的に繰返し課題を実施して、技術を身につけ、分からない点に関しては積極的に質問してください。
東洋医療臨床論	石丸 圭荘	公開により科目間の教育効果などを確認することができるので効果的である。
生理学総論	増田 敦子	半期という短い期間で通年分の勉強を頑張ってくれてありがとうございました。後期に追加授業をするので、また一緒に頑張りましょう！
看護学概論	佐藤 みつ子	看護学概論は、入学してまもなく開講する授業で、しかも内容が抽象的で難しかったと思います。しかし、看護学の基盤となる内容なので、今後、グループワークや視聴覚教材をもう少し取り入れ、理解しやすくしたいと思います。
解剖学Ⅰ(整)	佐々木 宏	「授業改善委員会」で十分検討し、最大公約数的な改善点(検討)を打ち出したらよいと思う。
解剖学Ⅰ(理)	佐々木 宏	「授業改善委員会」で十分検討し、最大公約数的な改善点(検討)を打ち出したらよいと思う。
生理学Ⅰ(理)	増田 敦子	分からないことは、質問してください。オフィスアワー以外でも部屋にいれば対応します。復習には配布した問題だけでなく、教科書をしっかり読んでください。
生理学Ⅰ(整)	増田 敦子	分からないことは、質問してください。オフィスアワー以外でも部屋にいれば対応します。復習には配布した問題だけでなく、教科書をしっかり読んでください。
生理学実習(理)	増田 敦子	まずは、学生番号でグループ分けしたことで、グループの男女比に偏りが出てしまったことをお詫びします。これから気をつけたいと思います。講義で聞いたことを、自分の体で実習したことはいい体験になったと思います。実習で得た体験をこれからの勉強に生かしてください。
整形外科Ⅱ(理)	橋本 俊彦	整形外科Ⅰで学習した知識を基に、整形外科の各論について学習する。講義内容の要約プリントを毎回配布し、実際の臨床に沿ったレントゲン画像やMRI、手術の等の供覧を行う。
整形外科Ⅱ(整)	岡田 尚之	重要な事柄は十分強調すること。学生の積極的な授業参加を促すこと。

平成23年度 前期授業評価アンケート 公開コメント

4/4

授業科目名	代表教官	コメント
老年医学	浅野 哲一	急速な高齢化が進む環境において、老年医学はますます重要になると思います。身近な課題から最新のトピックスまで、分かりやすく解説し、現場で役立つ知識を教えていきます。
社会保障概論	高野 龍昭	社会保障制度についてわかりやすく講義をするために、テキストの他、身近な話題、視聴覚教材、かみ砕いた資料などを用いた。また、障害者雇用の問題については、その事業者を訪ねるなどして、社会保障を自分の問題としてとらえることができるように意図した。ただし、学生側のそもそもの関心が薄く、居眠りや遅刻が多く、授業運営に苦労した。大学での学修であるので、教養を身につけるための科目、あるいは専門領域に隣接した科目にも前向きに臨んで欲しい。
教育方法の研究	金田 健司	本講義で使用した講義ノートを製本・印刷したらどうか、とも考えたが、重要なのは、「学生が自分の手で書く」ことであり「書くことによって学ぶ」ことである。この方針はこれからも維持したい。が、このような意見がこれから先に頻出した場合にはテキスト化も考えてみたい。
美術科教育法Ⅱ	島崎 浩	学生の一方的意見も目立つが、出来るだけ真面目に対応したい。出欠をさらに厳しくしたい。
国文学	藤瀬 礼子	今年度の本科目は教職課程のための芸術学部の履修生と教養として学ぶ看護学科の履修生が受講していたので両方に相共有する部分を模索しての授業であったので難しかった。アンケート結果から意欲的に授業に取り組んだ学生ほど理解も高かったため、今後はひろく興味関心を抱いてもらえるような内容を取り入れるため、教材研究をしていかななくてはならない。
スポーツコーチング論	越田 専太郎	学生からの評価より、ディスカッションなどを含めた講義形式が学生の興味や関心を高めることに貢献したと考察する。スポーツコーチング論は心理学や社会的な要素が含まれるなど複合的な内容で構成され、講義内容が多岐に渡る。さらに学生の理解度を高めるために、コース全体の構成を改善していく。
アスレティックトレーナーの役割	上岡 尚代	学生とのコミュニケーションを深められる様、講義の中にグループワークや問いかけなどを入れていく必要がある事が分かった。教材に関しては、テキスト、スライド、動画を有効に利用できた。